

後援会の皆様

後援会 顧問

石崎朔子

先日の第 50 回発表会は全観客の 50%の有観客で無事に終了致しました。半世紀に亘る発表会継続に繋がった事は偏に卒業生の心からの励ましと、生徒たちを大学へと送ってくれる思いやりと新体操を通じての絆であろうと思いました。全観客を入れて出来なかった事は大変な心残りでありました。コロナ感染の事が完全に収束した訳ではなかった事から、子供たちの賛助出演や卒業生の皆様に参加して頂けなかった事は大変に淋しい発表会となりました。それでも全国の皆様はユーチューブでご覧いただけたようで、様々な懐かしいメールを頂きました。嬉しい事でございます。私も 50 回もの長きに渡って関わるとは思っておりませんでした。ずるずるとここまで来てしまいました。発表会の内容も振り返ってみますと、結局のところ似たような演技内容になっており、違えていたようでもちっとも変わっておりませんでした。情けない事です。来年は 51 回の発表会となります。これからは現スタッフで斬新な新しい創作に意欲的に取り組んで頂こうと思っております。

さて、今年は東京オリンピックが開催されましたが、予想とは違った形で終了し何がなんだか解らないうちに終わった、という感想を持っております。しかし、10 月には北九州で世界選手権大会が開催され、日本選手は見事に蘇り良い結果として終わる事が出来ました。会場では競技本部長として橋爪先生が甲斐甲斐しく活動している姿があり本学の教員として誇らしく思いました。オリンピックを直接見れなかった者として、今回は十分に新体操に浸ることが出来ました。これも後援会の温かいご支援の賜物と感謝しております。

現地ではビネル女史やロシアチームとの交流、そして渡辺 FIG 会長の再選に向けて、活動させていただきました。無事に再選を果たせて安堵しております。この様な活動に対しても後援会からのサポートがありました故に出来たことであるとの場を借りて御礼申し上げます。

